

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者は加齢に伴い徐々にADLが低下することが予想される。今後は重度化や終末期に向けた対応について繰り返し本人や家族との話し合いが求められる。また職員間で事業所内で出きる具体的な支援についても話し合われることを期待したい。	・重度化・看取りに柔軟に対応できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化・看取りについて勉強会や研修等を行い職員間で情報を共有し、今ホームでできる支援内容について再度検討し具体化していく。</li> <li>・契約時や重度化等の支援が必要な際だけではなく、定期的に本人・ご家族様との話し合いの場を設け、スムーズな対応ができるようにする。</li> </ul>	12ヶ月
2	35	入居者、職員が安全に避難出きるよう機器の取扱いの熟知、定期的に安全確認、災害に備えた備品等の準備に期待したい。	・非常時、安全でスムーズな避難誘導が行える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の法定訓練の継続</li> <li>・近隣住民参加の訓練の継続</li> <li>・全職員が防災設備の取り扱いを理解できるよう定期的(法定訓練以外)に訓練を行う。</li> <li>・災害時は、地域の避難場所となる可能性もある為、事業所分の備蓄だけではなく、多めの非常用食料・飲料水等の準備を行う。</li> </ul>	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。